

授業計画（シラバス）

■科 目	<b>総合臨床 2</b>	■講師名	渡辺 節子
I 部 2 学年	前期 8 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 15 時間	講義 1 単位
<b>■学修概要</b> 歯科衛生士としての総合的な基礎力、応用力を習得し、国家試験合格のために理解を深める。 模擬試験・国家試験過去問題・総合試験を実施し、具体的な国家試験合格を視野に入れ学ぶ姿勢を身につける。			
<b>■授業目的、到達目標</b> 臨地・臨床実習を通して専門分野のグループワークを行い歯科衛生士に求められる専門知識の根本的に理解し応用可能にする。 代表的な症例の深い理解や知識を繋げることにより臨地・臨床実習だけでなく国家試験対策にも役立てられる。 歯科衛生士としての総合的な基礎力、応用力を習得し、国家試験合格を目指す。			
<b>■授業方法</b> 講義、演習(グループワーク、グループディスカッション、発表)			
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b> 各種教科書 歯科衛生士書き込み式学習ノート①～④ / 医歯薬出版 ①専門基礎科目編 ②社会歯科系科目編 ③臨床科目編〈上〉 ④臨床科目編〈下〉			
<b>■成績評価・講義上の注意</b> 定期試験、出欠席、授業態度、課題の他、以下の項目による総合的な評価 グループワーク・グループディスカッション：グループとしての行動の内容、協力度、達成度 発表：発表の態度、技術、発声、参加することへの積極性 課題提出：提出期限、内容			
<b>■実務経験</b> 歯科衛生士として長きに亘り、臨床及び教育現場で歯科衛生士や学生教育に携わる。その実績を反映し臨床経験に基づいた幅広い視点から知識、技術を学ぶ機会を提供したいと考えている。			
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>			
1	国家試験概要説明 / 歯科衛生士書き込み学習ノート①専門基礎科目編、②社会歯科系科目編の復習		
2	歯科衛生士書き込み学習ノート③④臨床科目編の復習		
3	症例検討：保存修復症例、補綴症例、小児歯科症例、矯正症例、口腔外科症例、歯周・歯周外科療 計 6 症例に関して課題考察		
4	症例発表：症例診断名・治療目的・治療手順・使用器具・問題点		
5	発表症例に関する練習問題を実施し理解力を確認		
6	発表症例を効果的に活用した学習方法		
7	発表症例に関する国家試験過去問題の理解力を確認		
8	定期試験（総合試験：国家試験に準ずる）		